

2020 年度事業報告

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1. 植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関をまきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全（第 3 期）	公益信託経団連自然保護基金 2020 度
	2. ケニア国キスム西準郡東キスム地区における診療所の改善による産婦人科サービス向上事業（第 2 年次）	令和元年度 N 連、（公社）日本国際民間協力会（NICCO）との連携事業
	3. ケリチョー郡 ECDE センターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業（第 2 年次）	令和元年度 N 連、NPO 法人 HANDs との連携事業
	4. 暴力的過激主義、紛争、災害による被害を受けたコミュニティの安定化と回復	国連開発プログラム（UNDP）（日本政府補正予算事業）
b) ウガンダ	1. 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 2、3 年次	令和元・2 年度 N 連
	2. 3. ビクトリア湖ブッシン島での安全な水へのアクセス向上計画/ジンガ島の安全な水へのアクセス向上と緑化推進	TOTO 水環境基金 2019/2020 年度
	4. 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化	トヨタ環境活動助成プログラム 2019 年度
	5. 北部ラムウォ県における難民及びホストコミュニティの人的開発の促進	UNDP（日本政府補正予算事業）
c) モザンビーク	1. 農村道路アクセス改善と雇用創出	ILO（日本政府補正予算事業）
d) ブルキナファソ	1. ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 第 3 フェーズ	（公財）日本国際協力財団 助成事業
	2. 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業 1 年次	令和元年度 N 連
e) ルワンダ	1. 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 3 年次	令和元年度 N 連
	2. ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立 1 年次	令和 2 年度 N 連
f) ミャンマー	1. マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業	（公財）日本国際協力財団 助成事業
g) 日本	講演、広報活動	団体自己資金

*ケニア 2.3.4 事業、ウガンダ 5、モザンビーク事業は、現地事務所での活動（活動計算書には含めず）、N 連：外務省 NGO 連携無償資金協力

2. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3. 事業実施期間、4. 事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア_1

事業名)

植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関をまきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全（第 3 期）（公益信託経団連自然保護基金 2020 年度）

事業内容)

- 苗木づくりに向けた技術支援
- 育苗用ため池の作成
- 林道の整備
- 植林とアグロフォレストリー

事業期間)

2020 年 4 月から 2021 年 3 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ニェリ郡

従事者数)

2 名（木村、岩村）

裨益者)

ニェリ郡対象農民グループ 106 名

事業費)

1,122,799 円

ケニア_2 *ケニア事務所事業

ケニア国キスム西準郡東キスム地区における診療所の改善による産婦人科サービス向上事業（第 2 年次）（外務省 R 元年 N 連 公益社団法人日本国際民間協力会（NICCO）との連携事業）

事業内容)

- 保健センターへのアクセス道路整備技術支援

事業期間)

2020 年 8 月～9 月

実施国、地域)

ケニア共和国、キスム郡

従事者数)

2 名（木村、岩村）

裨益者)

キスム郡対象コミュニティ

事業費)

3,863,288 ケニアシリング

ケニア_3 *ケニア事務所事業

事業名)

- ケリチョー郡 ECDE センターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業（第 2 年次）（外務省 R 元 NGO 連携無償資金協力（N 連）特定非営利活動法人 HANDs との連携事業）

事業内容)

- 小学校への通学路整備

事業期間)

2020 年 11 月から 2020 年 12 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ケリチョー郡

従事者数)

2 名（木村、岩村）

裨益者)

ケリチョー郡対象コミュニティメンバー 25 名

事業費)

2,958,400 ケニアシリング

ケニア_4 *ケニア事務所事業

事業名)

暴力的過激主義、紛争、災害による被害を受けたコミュニティの安定化と回復（国際連合開発プログラム（UNDP）（日本政府補正予算事業））

事業内容)

- 若者参加型の支線道路補修
- 若者グループの雇用創出支援

事業期間)

2021年2月～3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ブシア郡、ブンゴマ郡

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

ブシア郡、ブンゴマ郡対象若者グループ 100名

事業費)

21,249,396 ケニアシリング (212,500 米ドル)

b) ウガンダ

ウガンダ_1

事業名)

現地の材料と地元の若者参加型で行う土の工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 第2年次、第3年次(外務省 R 元年、2年度 NGO 連携無償資金協力事業 (N 連))

事業内容)

- a. 住民参加によるコミュニティ・アクセス道路補修事業
- b. 若者雇用創出に向けた研修

事業期間)

2020年4月～2021年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、西部4県(チェンジョジョ県、ブニャンガブ県、カバロレ県、カセセ県)

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

道路整備研修に参加した若者および県道路維持管理組メンバー205人

事業費)

37,364,399 (34,578,189 + 2,786,210) 円

ウガンダ_2

事業名)

ビクトリア湖ブッシ島での安全な水へのアクセス向上計画 (TOTO 水環境基金 2019 年度)

事業内容)

- a. 給水率向上のための雨水集水タンク設置
- b. 島民、小学生との育苗場建設、育苗支援および植林
- c. 小学校における環境・衛生教育

事業期間)

2020年4月から2020年6月(延長期間)

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ブッシ島2村

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

給水タンクを使用する島民 2,011 名

事業費)

170,691 円

ウガンダ_3

事業名)

ビクトリア湖ジンガ島の安全な水へのアクセス向上と緑化推進 (TOTO 水環境基金 2020 年度)

事業内容)

- a. 給水率向上のための雨水集水タンク設置
- b. 島民、小学生との育苗場建設、育苗支援および植林
- c. 小学校における環境・衛生教育

事業期間)

2020年4月から2021年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ジンガ島4村

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

給水タンクを使用する島民 4,225 名

事業費)

2,976,169 円

ウガンダ_4

事業名)

脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化(トヨタ環

境 20/21)

事業内容)

- a. 土壌保全手法の技術支援
- b. 農民グループ、小学生との育苗場整備、技術支援、植林
- c. 育苗用水の確保のための給水タンク設置

事業期間)

2020年4月から2021年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ブドゥダ県ブカラシ地区

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

ブドゥダ県の2農民グループ、2小学校

事業費)

3,073,333円

ウガンダ_5 *ウガンダ事務所事業

事業名)

北部ラムウォ県における難民及びホストコミュニティの人的開発の促進(UNDP(日本政府補正予算事業))

事業内容)

- a. 土のうを用いた道路補修技術支援
- b. 難民居住区内の道路建設技術支援
- c. 簡易かまど作成技術支援
- d. 森林回復のための植林技術支援

事業期間)

2020年10月から2021年3月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ラムウォ県

従事者数)

2名(木村、岩村)

裨益者)

ラムウォ県の難民及びホストコミュニティ住民合計1,000名

事業費)

1,249,262,383ウガンダシリング(339,102米ドル)

c) モザンビーク *ウガンダ事務所事業

事業名)

農村道路アクセス改善と雇用創出
(ILO(日本政府補正予算事業))

事業内容)

- a. 農村道路のアクセス改善のために、若者や技術者36名を対象とした土のうを用いた道直し訓練
- b. 排水整備技術訓練

事業期間)

2021年1月~2021年3月

実施国、地域)

モザンビーク共和国マニカ州

従事者数)

3名(木村、福林、岩村)

裨益者)

道路整備研修に参加した若者26名及び技術者8名

事業費)

37,865米ドル

d) ブルキナファソ

ブルキナファソ_1

事業名)

ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業(フェーズ3)

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備の実施と技術移転
- b. 道路管理者、行政官、NGO、ドナー機関等への土のう工法紹介
- c. 雇用した女性への金融教育

事業期間)

2020年4月から2021年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ、バンフォラ市

従事者数)

2名(木村、森重)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加し

た、バンフォラ市の住民 50 名、道路利用住民
約 10,000 名

事業費)

58,860 円

ブルキナファソ_2

事業名)

都市型自治体の女性雇用による労働集約型
未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・
零細起業による生計安定支援事業 第 1 フェー
ズ (N 連 4 年目)

事業内容)

- 全国の都市型自治体道路管理者およびイ
ンフラ省県局長、インフラ省本省公共雇用
プログラム部局に対する土のう工法研修
(研修地バンフォラ市での道路整備含む)
- 3 か所の都市型自治体において女性を主に
雇用した道路整備実施と技術移転
- 上記プログラムで雇用される女性への生
計安定研修

事業期間)

2020 年 4 月から 2021 年 3 月

実施国、地域)

ブルキナファソ、都市型自治体 3 都市

従事者数)

3 名 (木村、森重、田川)

裨益者)

道路整備やその研修に参加した、都市型自治
体道路管理関係者およびバンフォラ市他、3 都
市の住民 300 名、道路利用住民約 20,000-40,000
名

事業費)

3,832,218 円

e) ルワンダ

ルワンダ_1

事業名)

若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材
を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 3
年次 (外務省 R 元年度 NGO 連携無償資金協力

事業 (N 連))

事業内容)

- 住民参加による農道整備事業
- 若者雇用促進に向けた研修

事業期間)

2020 年 4 月～2021 年 3 月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、西部州ンゴロレロ郡、東部
州キレヘ郡、ガチボ郡

従事者数)

4 名 (木村、福林、岩村、千葉)

裨益者)

道路整備研修に参加する住民 150 人、道路沿
線住民 12,000 人

事業費)

29,793,304 円

ルワンダ_2

事業名)

ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発
展に向けた農道整備体制の確立 1 年次 (外務
省 R2 年度 NGO 連携無償資金協力事業 (N 連))

事業内容)

- 労働集約型農道整備事業研修
- 高等技術学校教員への技術移転
持続的な労働集約型農道整備体制の枠組
み作り

事業期間)

2021 年 3 月～2022 年 3 月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、南部州カモニ郡、フイエ郡、
ニャンザ郡、ギサガラ郡、ムハンガ郡、西部州
カロンギ郡

従事者数)

5 名 (木村、福林、岩村、千葉、渡辺)

裨益者)

道路整備研修に参加する住民 300 人、道路沿
線住民 12,000 人

事業費)

735,747 円

f) ミャンマー

事業名)

マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備、橋梁建設、CSO研修

事業期間)

2020年4月～2021年3月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国マグエ地域

従事者数)

3名(木村、福林、斎藤)

裨益者)

事業実施地域の住民約700人

事業費)

36,550円

g) 国内

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

- a. 各地で講演会、広報資料作成、配布

事業期間)

2020年4月～2021年3月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

10名(木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、中井、福林、須摩谷)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

1,027,738円

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2020年度上期活動概要



外務省 NGO 連携無償資金協力事業での道路開通式（ウガンダ）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、駐在員の一時帰国を余儀なくされ（ウガンダ事務所駐在の岩村職員は約6か月間日本国内で業務後、10月に帰任）、日本人専門家を派遣できていません。そこで、日本人担当者はオンライン会議で、現地スタッフとの連絡調整を密にしています。彼らが感染予防の対策をしつつ（上記写真でも皆マスクを着用）、現場活動を進めています。事業期間の延長や活動の一部縮小など影響も出ていますが、例年に近い規模で事業を実施しています。



認定 NPO 法人 **道普請人**
みちぶしんびと

2020年度上半期活動内容

主な活動	2020					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
経団連自然保護基金、道直し・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO)とのパートナーシップ事業(木村、福林、岩村) * 1						
ルワンダ						
外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村、千葉)						
ブルキナファソ						
日本国際協力財団助成、バンフォラ市内道路整備事業(木村、森重)						
外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、田川)						
ウガンダ						
外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村)						
TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
TOTO水環境基金、給水・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
UNDP日本政府補正予算事業 道直し・環境保全・生計向上事業(木村、福林、岩村) * 2						
ミャンマー						
日本国際協力財団の助成(福林、斎藤)						
国内						
広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、須摩谷)						

* 1ケニア事務所契約事業
* 2ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名： 植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関をまきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全

資金協力団体：「公益信託経団連自然保護基金」2020年度
事業期間：2020年4月から2021年3月(ケニア)

事業名： 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 第3フェーズ

資金協力団体：外務省、平成29年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2020年3月から2021年3月(第3フェーズ)(ルワンダ)

事業名： ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 第3フェーズ

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団
事業期間：2019年4月から2020年10月(ブルキナファソ)

事業名： 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業 (第1期)

資金協力団体：外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2019年12月から2020年12月(ブルキナファソ)

事業名： 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 (第2期)

資金協力団体：外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2020年2月から2021年1月(ウガンダ)

事業名： ブドウダ県 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化

資金協力団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2019年度
事業期間：2020年1月から2020年12月(第2期)(ウガンダ)

事業名： ビクトリア湖ジンガ島の安全な水へのアクセス向上と緑化推進

資金協力団体：第15回 TOTO 水環境基金
事業期間：2020年4月から2021年3月(ウガンダ)

事業名： マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団
事業期間：2020年4月から2021年3月(ミャンマー)

主な広報活動

月日	内容
6月5日	2018年ガンビアでのILOとの連携事業が、2019年版開発協力白書、日本の国際協力、コラム「国際協力の現場から」に取り上げられました。
7月3日	JICA 広報誌「mundi」7月号に木村理事長のインタビュー記事が掲載されました。ぜひご一読ください。
7月31日	「国際開発ジャーナル 8月号」の「論説委員視点」に、「アフリカにおける草の根 NGO 戦略 サブサハラ諸国で事業の全面展開を目指す」と題した木村理事長の論考が掲載されました。
8月3日	令和元年度外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業で、ウガンダ西部チェンジョジョ県にて55名の若者及び道路維持管理者を対象に土のうを用いた道直し訓練を実施し、その様子が現地ニュースに取り上げられました。
8月31日	ルワンダにおける令和元年度外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業で、同国キレヘ郡での道直し訓練の様子がルワンダ主要全国紙の一つ Imbaho nsya で取り上げられました。

活動報告

ルワンダ

- キレヘ郡では、知事も道直し訓練を体験しました。そして、道普請人が訓練をした組合に対して、郡の道路整備事業を積極的に発注することを発表しました。
- ンゴロレロ郡では、傾斜地で雨水の表面流による土壌浸食が深刻な問題となっていました。そこで、土のう工法と植生工を組み合わせた施工を行いました。



知事が訓練参加



ンゴロレロ郡でのパイロット施工

ケニア

- ニェリ郡のガティウル森林復元のため、地元農民グループとともに育苗場の管理や運営に関する講義を行いました。
- 日本の NGO NICCO との連携にて、キスム郡のヘルスセンターへのアクセス道路 140m を整備しました。患者ら利用者のアクセス向上に、貢献しています。



ニェリ郡での育苗場管理訓練



N連パートナー事業での道直し

ブルキナファソ

- 新型コロナウイルスの影響など様々な制約がありましたが、N連事業の全国研修準備としてバンフォラ市で216mの整備工事を、現地スタッフが中心となり実施しました。
- インフラ省と、土のう工法の普及事業に関する覚書を締結することができました。大臣承認が必要で時間を要しましたが、政府公認の工法となり、西アフリカでの普及にはずみがつきました。



土のう工事



側溝工事



工事前



工事後

ウガンダ

- チェンジョジョ県・ブニャンガブ県の若者計105名に、道直し訓練を実施し、合計810mを補修しその通行性が向上しました。
- ビクトリア湖ジンガ島にて新規給水・環境事業を開始し、4村に合計24基の雨水集水タンクを設置しました。また、ブドウダ県にて地元農民グループを対象に土壌保全のための段々畑作成訓練を行いました。



ジンガ島での給水タンク設置



段々畑作成訓練

施工延長(2020年9月末日現在)

	累計(m)	2020年度 上期(m)
ケニア	31,467	140
ルワンダ	3,774	752
ブルキナファソ	8,361	216
ウガンダ	9,338	810
その他25国	131,064	0
合計	184,004	1,918

認定NPO法人です!

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2020年度下期活動概要



外務省 NGO 連携無償資金協力事業（N 連）での道路開通式（ウガンダ）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で一時帰国した駐在員も、現地に戻りました。専門家派遣はできませんでしたが、時差のため日本では夜間に実施する月例のオンライン会議で、専門家の助言を現地へ届けています。感染予防の対策をしつつ現場活動を進めており、上期同様、例年に近い規模で事業を実施しています。



認定 NPO 法人

みちぶしんびと
道普請人

2020年度下半期活動内容

主な活動	2020			2021		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
経団連自然保護基金、道直し・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
特定非営利活動法人 HANDsとのパートナーシップ事業(木村、福林、岩村)*1						
UNDP日本政府補正予算事業(木村、福林、岩村)*2						
ルワンダ						
外務省令和元・2年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村、千葉)						
ブルキナファソ						
日本国際協力財団助成、バンフォーラ市内道路整備事業(木村、森重)						
外務省令和元年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、田川)						
ウガンダ						
外務省令和元・2年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村)						
TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
TOTO水環境基金、給水・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
UNDP日本政府補正予算事業(木村、福林、岩村)*3						
モザンビーク						
ILO日本政府補正予算事業(木村、福林、岩村)*4						
ミャンマー						
日本国際協力財団の助成(福林、斎藤)						
国内						
広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、須摩谷)						

* 1.2 ケニア事務所契約事業

* 3.4 ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名： 植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関を
まきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全

資金協力団体：「公益信託経団連自然保護基金」2020年度

事業期間：2020年4月から2021年3月(ケニア)

事業名： 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した
労働集約型未舗装道路整備事業 第3フェーズ

資金協力団体：外務省、令和元年度本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2020年3月から2021年3月(第3フェーズ)(ルワンダ)

事業名： ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備
事業 第3フェーズ

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2019年4月から2021年3月(ブルキナファソ)

事業名： 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道
路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による
生計安定支援事業 (第1期)

資金協力団体：外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2019年12月から2021年6月(ブルキナファソ)

事業名： ブドゥダ県 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで
実践する土壌保全とレジリエンス強化

資金協力団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2019年度

事業期間：2020年1月から2021年3月(第2期)(ウガンダ)

事業名： 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用
いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 (第2・3期)

資金協力団体：外務省、令和元・2年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2020年2月から2021年3月(ウガンダ)

事業名： ビクトリア湖ジンガ島の安全な水へのアクセス向上と緑
化推進

資金協力団体：第15回 TOTO 水環境基金

事業期間：2020年4月から2021年3月(ウガンダ)

事業名： 北部ラムウォ県における難民及びホストコミュニティの
人道的開発の促進

資金協力団体：UNDP(国連開発計画) 日本政府補正予算事業

事業期間：2020年10月から2021年3月(ウガンダ)

事業名： 農村道路アクセス改善と雇用創出

資金協力団体：ILO(国際労働機関) 日本政府補正予算事業

事業期間：2021年1月から2021年3月(モザンビーク)

主な広報活動

月日	内容
11月16日	ルワンダでのN連事業で、同国ガチボ郡で行った道直し訓練修了式が、地元ラジオ局の放送で紹介されました。また、主要全国紙にも掲載されました。
12月11日	ウガンダでのN連事業の完了ワークショップの様子が現地インターネットニュースで報道されました。
1月5日	読売新聞（京都版）に木村理事長のインタビュー記事が掲載されました。
1月22日	ILO キャリアセミナー「これからの国際人材に期待されること〜コロナ禍のSDGsとDecent Workの推進」で、木村理事長がパネラーとして登壇しました。
2月22日	TOTO 水環境基金助成団体の活動ニュースとして、ジンガ島での植林の様子が紹介されました。

活動報告

ルワンダ

- 訓練を受けた代表者たちが、168人の組合員に土のう工法を指導し自分たちで80mの道路を整備しました。
- ガチボ郡では50人の若者たちが訓練に参加し、修了式は地元ラジオや全国紙でも報道されました。



キレヘ群フォローアップ



ガチボ郡での修了式

ブルキナファソ

- 全国すべての県庁所在市の道路担当者としてインフラ省地方局担当者へ、土のう工法研修を実施しました。



土のう工法研修（座学）



土のう工法研修（デモ見学）

ケニア

- ニェリ郡のガティウル森林にて2農機グループや地元小学生が29,700株の苗木を生産し、30ヘクタールの森林に植林しました。（経団連自然保護基金）
- 日本のNPO法人HANDsの事業地で、若者への研修を通して農村通学路を補修し、地元小学生が安心して通学できるようになりました。（N連、パートナーシップ事業）
- ブシア郡、ブンゴマ郡にて計100名の若者を対象に道直し訓練を実施し、コミュニティ・アクセス道路が補修されました。（UNDP 日本政府補正予算事業）



植林に参加する小学生



UNDP事業で整備された道

ウガンダ

- カバロレ県、カセセ県の若者に土のうを用いた道直し訓練を実施しました。また、12月に事業完了ワークショップを実施し、政府関係者に対しこれまでの事業成果を発表しました。（N連）
- ブドウダ県にてアグロフォレストリーや段々畑作成などの技術訓練を実施しました。（トヨタ環境活動助成）
- ビクトリア湖のジンガ島4村160名を対象に、ゴミ処理等に関するワークショップを実施し、環境保全や衛生に対する意識が高まりました。（TOTO 水環境基金）
- 北部ラムウォ県にて難民・ホストコミュニティの住民計1,000名を対象に、道路補修、かまど作成、植林に関する訓練を実施しました。（UNDP 日本政府補正予算事業）



カセセ県での土のう工法研修



段々畑の位置決め訓練の様子

ウガンダ(つづき)



ジンガ島内での衛生啓発研修



かまど作成訓練

モザンビーク

- マニカ州にて、ILOとの連携により道路補修や排水整備に関する実地訓練を実施しました。土のうの技術はモザンビークの政府関係者からも高く評価されました。



- ケニア事務所のキプエゴン氏が現場監督を担当しました。

側溝断面を確保している様子

施工延長(2021年3月末日現在)

	累計(m)	2020年度 下期(m)
ケニア	36,200	4,733
ルワンダ	4,081	307
ブルキナファソ	8,639	278
ウガンダ	16,880	7,542
その他25国	131,277	213
合計	197,077	13,073

認定NPO法人です！

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。
当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。
詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局：福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>